

表2. 呑川の生物的環境

調査箇所		夏期調査						秋期調査		冬期調査												
		A		B	C			24'	B' 28	A			B		C							
		2	20'	25	27	31	2			4	5	9	20	20'	21	25	26	27a	27b	31		
区間	調査水域 (Sec.)	流心部	岸边	流心部	流心部	湧水孔の下流側	右岸側	全体	上流端	流心部						湧水孔内部の側面		流心部				
藻類 *1	総重量(g)	8.3	7.5	4.3	6.4	0.2	0.2			1.9	1.1	1.0	1.4	0.9	3.1		0.9	3.1	1.9	6.3	11.0	
	ミゾジュズモ	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎		△	△	△	△	△	
	カワシオグサ	×	×	×	△	△	△	○		△	△	△	△	△	△		△	△	△	△	△	
	ケイソウ	<i>Hydrosera whampoensis</i>	△	△	△	△	△	△			△	△	△	△	△	△		◎	◎	◎	◎	◎
		<i>Ulnaria spp.</i>	×	×	×	×	×	×			◎	◎	◎	◎	◎	◎		△	△	△	△	△
		カワモズク	×	×	×	×	×	×			△	△	△	△	×	×		×	×	×	×	×
	ツルギミドロ	×	×	×	×	×	×			△	△	△	△	×	×		×	×	×	×	×	
底生動物	コカゲロウ	70.5	12.0	35.0	78.5	9.8	1.0			0	0	0	0	0	0		1	0	5	6	0	
	平均胸甲長(mm)	0.5	0.6	0.6	0.9	0.7	0.7															
	ユスリカ(個体数)	65.5	14.0	12.0	158.0	83.0	30.5			34	65	38	46	49	43		188	81	92	45	44	
	トビケラ(個体数)	1.1	36.5	0.0	2.5	0.8	15.0			1	0	0	1	0	0		1	0	0	0	0	
	モノアラガイ	0	0	0 *3	0	0	0			0	2	0	0	0	0	24 *7	0	0	0	0	0	
草本の種子(個数)	長径0.8-2.0 mm	0	0	58.0	0	0	0			1	1	0	9	6	161		9	0	0	0	0	
	長径3.0-4.0 mm	0	0	2.0	0	0	0			0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	
	長径5.0 mm	0	0	0.5	0	0	0			0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	
魚類(個体数)*2	スミウキゴリ	0	11	3	0	0	2	0	0												0	
	ビリンゴ	0	0	0	0	0	5	0	0												0	
	ヌマチチブ	0	0	0	0	0	2 *5	0	0												0	
	マルタウグイ	0	0	0	1 *4	0	0	0	20												0	
	ボラ	0	0	0	0	0	1	0	2												8	
	ウナギ	0	0	0	0 *5	0 *6	0	0	0												1	
甲殻類(個体数)*2	モクズガニ	0	1	2	0	0	0	0	0												0	
	ケフサイソガニ	0	0	1	0	0	1	0	0												0	
	アメリカザリガニ	0	1	0	0	0	0	0	0												0	

★...河床100 cm<sup>2</sup>あたり

\*1...◎; 多い(90%以上) ○; 普通(10-90%) △; 少ない(10%未満) ×; ほとんど確認されなかった。

\*2...調査者2人で20分間採集 (Sec.20' ではその下流の未改修部で採集)

\*3...採集しなかったが, Sec.20' の護岸側面および未改修部の底泥に多く確認した。

\*4...捕獲されたのは1個体のみだが, Sec.28で群れが目視された。

\*5...石の下で雄個体が卵を保護しているところを確認した。

\*6...目撃したが, 採集することができなかった。

\*7...底泥の表面35×150cm<sup>2</sup>を手網ですくった。